

No.085 (不定期刊)

"Great Wall" Street Journal

# 長城街日報

～中国株の現場から～



東洋証券株式会社  
上海駐在員事務所 所長  
奥山 要一郎  
2007年入社。本社シニアストラテジ  
スト等を経て、2015年より現職

## 中国でPCR検査を受けてみた

「もしもし。こちら阿里健康(アリヘルス)です。実は昨日の検査なんですけど……」。丁寧かつ慎重な声に緊張感が走る。思い当たるのはPCR検査。メールでの結果報告を待っていたのだが、その前にスタッフから電話がかかってきた。まさか……。

★ ★ ★ ★ ★

中国で感染拡大が落ち着いたように思われた新型コロナウイルス。ところが、6月に北京市でクラスターが発生し、再び警戒感が高まっている。同市では1000万人規模のPCR検査を実施中だ。

PCR検査は中国語で「核酸検測」。最近、市民の会話でもよく聞かれるホットワードだ。中国では検査体制に比較的余裕があるため、症状がなくても受けることができる。そこで私も念のため検査してみた。在外国人はホテルや各種施設で「陰性証明」の提示を求められるケースがあるからだ。

まずはスマホで検査予約。アリババ系の「阿里健康」アプリを開き、「核酸検測」の項をタップすると、検査機関や場所、予約の空きが一覧表示される。民間検査がほとんどを占めるよう。どれが適切か分からなかったの、とりあえず家から近い場所を予約。検査価格は480元(約7200円)だが、今なら半額の240元(約3600円)という謎の割引サービスがあった。

指定日に訪れた検査会場は、医療関係の研究施設内にある。会議室に設けられた即席の受付には、20人ほどがひしめき合っただけで列を作っていた。検査場でまさかの「3密」状態。もちろん全員マスク姿だが、息をひそめて自分の順番を待った。どうやら勤務先から命じられて検査に来る人が多いよう。



検査時はピンと背筋を伸ばしましょう

職場復帰や出張に伴い陰性証明が必要なのだろう。

その後、受付で渡された小さな試験管を持って、小学校の理科実験室のような小部屋へ向かう。待ち構えているのは防護服姿の検査官。事務的な口調で「口を開けてください」と告げてきた。思いっきり口を開けると、これまた事務的に綿棒を喉元めがけて突っ込んでくる。ゲホゲホ。数秒で検査終了です。

結果は翌日、スマホSMSで報告。冒頭の電話は、私が外国人だったせいか、氏名と生年月日のダブルチェックだった。ほっと一息。数分後にSMSで送られてきたURLにアクセスすると、結果が記されたPDFファイルを閲覧できる。もちろん陰性だ。

このPDFをスマホに保存もしくは紙で印刷すると「陰性証明」のできあがり。これは今や最強のツールだ。通行手形、いや、水戸黄門の印籠にでも例えられようか。先週出かけた旅先のホテル、観光施設、博物館などで提示を求められたが、堂々とスマホ画面を見せれば問題なし。何だか誇らしい。

一度だけ、係員から「1週間以内の検査じゃないとダメ」と言われた。確かにその時は検査日から8日を経過。「これは面倒だなあ」と思ったが、そこはテキトー……、もとい、臨機応変なチューゴク。少々押し問答した挙句、「ま、1日過ぎていくくらいならオッケーか。行ってよし!」と相成った。まあ、たぶん大丈夫。

★ ★ ★

さて、結果の注意事項欄を見ると「陰性だけど陽性の可能性も否定できない」との但し書きを発見し、ちょっとドキリ。検査側の責任回避なのか、次回の検査もお待ちしていますという営業トークなのか。「アンダー・コロナ」の生活はまだ始まったばかりだ。

文中の見解は全て筆者の個人的意見です。写真、グラフ、表なども全て筆者によるものです。

最終頁に重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

## ◆ 注 意 事 項 ◆

### 外国証券等について

・外国証券等は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き、日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

### 手数料等およびリスクについて

#### ①国内株式等の手数料等およびリスクについて

・国内株式等の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2650%（税込み）の手数料をいただきます。約定代金の 1.2650%（税込み）に相当する額が 3,300 円（税込み）に満たない場合は 3,300 円（税込み）、売却約定代金が 3,300 円未満の場合は別途、当社が定めた方法により算出した金額をお支払いいただきます。国内株式等を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式等は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ②外国株式等の手数料等およびリスクについて

・委託取引については、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買う場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して 最大 0.8800%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・国内店頭取引については、お客さまに提示する売り・買い店頭取引価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い店頭取引価格との差がそれぞれ原則として 2.75%となるように設定したものです。

・外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

### 利益相反情報について

この資料の作成後、掲載された銘柄を対象とした EB 等の仕組債等を東洋証券株式会社が販売する可能性があります。また、東洋証券株式会社またはその関連会社の役員またはその家族がこの資料に掲載された企業の証券を保有する可能性、取引する可能性があります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

この資料は、東洋証券株式会社が信頼できるとされる各種のデータに基づき投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。また、この資料に記載された情報の正確性および完全性を保証するものでもありません。また、将来の運用成果等を保証するものでもありません。この資料に記載された意見や予測は、資料作成時点のものであり、予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

この資料に基づき投資を行った結果、お客さまに何らかの損害が発生した場合でも、東洋証券株式会社は、理由の如何を問わず、一切責任を負いません。株価の変動や、発行会社の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがありますので、投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

この資料の著作権は東洋証券株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

◇商 号 等：東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 121 号  
 ◇加 入 協 会：日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会  
 ◇本 社 所 在 地：〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1  
 TEL 03 (5117) 1040

<http://www.toyo-sec.co.jp/>

2020 年 7 月 2 日  
 審査部審査済